

目 次

はじめに	1
1. 背景	1
2. 目的	1
3. 事業の概要	1
(1) 交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム	1
(2) 交通事故被害者等支援に関する意見交換会	2
(3) 自助グループ運営・連絡会議	2
4. 検討会	3
(1) 目的・内容	3
(2) 委員	3
(3) 開催概要	3
第1章 交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム	5
1. 目的	12
2. 概要	12
3. 開催日時等	12
4. 体制	13
5. プログラム	14
6. 実施内容	15
(1) 講演「交通事故で家族を亡くした子供のための トラウマインフォームドな社会づくり」	
講師：武庫川女子大学准教授 大岡 由佳	15
(2) 対応事例「きょうだいを亡くした交通事故被害者等への支援事例」	
講師：グリーンサポートやまぐち代表 京井 和子	26
(3) 体験談の発表	
松本（平成15年（当時14歳）、兄を交通事故で失う）	30
竹山 弦伸、佳克（平成28年（当時8歳、6歳）、弟を交通事故で失う）	32
中江 龍生（平成24年（当時27歳）、妹を交通事故で失う）	36
(4) 質疑応答	
コーディネーター：	

飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事	
井上 郁美（令和4年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）	
専門家：	
元同志社大学教授、現同大学研究開発推進機構嘱託研究員	
川本 哲郎（令和4年度交通事故被害者サポート事業検討会座長）	
 38
（5）閉会挨拶	
元同志社大学教授、現同大学研究開発推進機構嘱託研究員	
川本 哲郎（令和4年度交通事故被害者サポート事業検討会座長）	
 41
7. まとめと今後の方向性	42
（1）まとめ	42
（2）今後の方向性	51
第2章 交通事故被害者等支援に関する意見交換会	53
1. 目的	55
2. 概要	55
3. 開催日時等	55
4. 体制	55
5. プログラム	57
6. 実施内容	58
（1）体験談の発表	
道下 亜美（平成29年（当時14歳）、父を交通事故で失う）	58
（2）支援に携わる方からの事例紹介「こどものケアと心の支援	
－学校現場での支援を中心に－	
講師：武蔵野大学心理臨床センター相談員、	
横浜市スクールカウンセラー・スクールスーパーバイザー、	
臨床心理士・公認心理師	
山下 由紀子	62
（3）意見交換	71
（4）意見交換の共有	76
7. まとめと今後の方向性	77
（1）まとめ	77
（2）今後の方向性	82

第3章 自助グループ運営・連絡会議	83
1. 目的	85
2. 概要	85
3. 開催日時等	85
4. 体制	85
5. プログラム	86
6. 実施内容	87
(1) 講演「交通事故による高次脳機能障害を取り巻く状況と必要な支援」	
講師：やまぐちクリニック院長・脳神経外科医	
山口 研一郎	87
(2) 体験談「交通事故で高次脳機能障害を負った被害者とその妻の困難な道のり」	
滋賀県在住 交通事故被害者A氏及び交通事故被害者の妻B子	99
(3) 質疑応答	107
7. まとめと今後の方向性	110
(1) まとめ	110
(2) 今後の方向性	114